

目標達成計画

事業所名 グループホームハッピー

作成日：令和 2 年 4 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	4・5	・職員と計画作成担当者が中心となり、利用者がより良く暮らすための介護計画を考えているが、画一的な課題になりがちである。 ・暮らしの様子を具体的に記入することが不十分である。	・その利用者毎の具体的な課題を見つける。 ・毎日の介護記録で、その利用者の暮らしの様子が変わるようにする。	・下記の記録内容からミーティングでその利用者毎の課題を見つける。 ・出勤職員がそれぞれ関わった内容や会話した内容等をⅠは9名分、Ⅱは6名分、必ず1日に記入するようにする。	12 か月	
2	10	・利用者に対する言葉遣いが親しみを込めすぎて度を越すことがあったり、誘導の声かけがつい大きくなってしまったりする。	・利用者の尊厳を大切にされたケアをすることができる。	・不適切な言葉遣いやNG言葉遣いをしないようにするために何が不適切な言葉遣いかをかわるように各ユニットのスタッフルームに掲示する。	12 か月	
3	18	・セルフケアのできる利用者の口腔内の健康状態を見落としてしまうことがある。	・利用者全員の口腔内の健康状態を把握することができる。	・セルフケアできる利用者も毎回職員が仕上げ磨きを行い、口腔内を確認する。	6 か月	
4	39	・職員は地域とつながろうという意識をもっているが、利用者が日常的に関わっていない。 ・地域とつながりながら暮らし続けるという視点において、利用者が地域に出て関係を深めていけるような支援をする。	・利用者、職員共に地域の顔なじみになっていきたい。	・運営推進会議時に参加できる利用者・職員には出てもらえるよう働きかける。 ・散歩などにより、地域の方々に顔を知ってもらい、なじみの関係になれるようにしていく。	12 か月	
5	50	・災害に関する話し合いは運営推進会議で行われているが、今後のためにも協力・支援体制をより強いものにしていく。	・地域との合同の防災訓練を行う。	・町内会長さんと話をする中で、地域として防災訓練をしていきたいという話があったため、当ホームも、訓練が開催される時は、一緒に参加したい旨をお伝えする。	12 か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取 り 組 ん だ 内 容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他()
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他()